

組織としての公文書番号を付番していない場合、空欄

様式 1-1 (記入例)

平成 年 第 月 号 日

文化庁長官 殿

代表者氏名は、記名+押印としてください(印は代表者印)。

団体名 ○○市
 住所 ○○県○○市○○町3-2-1
 代表者職名 市長
 代表者氏名 ○○ ○○ **印**

平成30年度文化財多言語解説整備事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）交付要望書

平成30年度文化財多言語解説整備事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	○○文化財観光アプリコンテンツ整備事業		その他の経費には、事務経費等を計上してください。
補助事業経費の配分	主たる事業費 その他の経費 合計	9,000,000 円 60,000 円 9,060,000 円	収支予算書の交付要望額と同額。千円未満の端数は申請できませんので、自己負担額等で負担してください。
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 30年9月1日 完了 31年3月31日		
補助金の交付要望額	(総補助事業経費)		円 円
事業対象文化財における保存活用計画の有無	計画を策定していない場合は「無」と記載。策定している場合は、「有」とともに保存活用計画の名称を記載してください。		

(ふりがな)	
担当者氏名	
連絡先 (TEL)	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡のとれる電話番号も記載してください。
" (FAX)	
" (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他(日中連絡先)	

<平成30年度事業計画書>

事業の名称		〇〇文化財観光アプリコンテンツ整備事業													
整備事業の概要															
<p>●●市には、●●をはじめとして貴重な文化財が集積している。市の●●エリアの観光ルートとして、下記に掲げる文化財を周遊するコースを推奨しているところである。</p> <p>このたび、外国人観光客等のさらなる誘客を目指し、●●エリアの文化財の魅力を伝えるコンテンツを作成する。具体的には、史跡●●城跡から、重要文化的景観●●の農村景観、●●遺跡などを対象として、日本語とともに英語で説明するアプリを作成する。なお、●●城跡については、VR技術を用いて、当時の建造物の様子がタブレット等から見えるようなコンテンツを作成する。併せて、●●の町並みについては、AR技術を用いて、当時の農作業等の様子がタブレット等から見えるようなコンテンツを作成する。</p>															
整備対象の文化財等															
文化財種別	名称	整備手法				設置場所	表示言語	多言語解説設備の有無							
史跡	●●城跡	VR技術を用いた解説アプリ作成				—	英語	無							
重要文化財	●●櫓門	解説アプリ作成				—	英語	無							
史跡	●●遺跡	AR技術を用いた解説アプリ作成				—	英語	有							
重要文化的景観	●●の農村景観	AR技術を用いた解説アプリ作成				—	英語	有							
多言語解説文作成の概要（わかりやすい観点から作成されているかを記載。これから整備する場合にはその計画を具備）															
解説文については英語で作成するものとし、●●市において作成済の英語解説文について、外国人にとってわかりやすい観点から、観光庁が推奨する有識者●●から監修いただいたものを利用する予定である。															
監修予定者（以下のア～ウから記載 ※ア 予定している方の氏名を記載、イ 特になし、ウ 観光庁人材リスト）															
ウ ●●氏															
具体的な指標及び目標値① ※過去3年間の対象文化財の外国人観光客数が把握していれば別途記載する。															
対象文化財の外国人観光客数	29年度	20,000人	30年度	21,000人	31年度	25,000人	32年度	29,000人	33年度	34,000人	34年度	38,000人	35年度	45,000人	
具体的な指標及び目標値②															
対象文化財の外国人観光客満足度	29年度	—	30年度	70%	31年度	75%	32年度	75%	33年度	80%	34年度	80%	35年度	85%	
整備事業に伴う31年度の自己収入見込み（及び維持費等支出額見込み）															
収入見込み	2,500,000円	備考	タブレット貸出料 1人 100円 利用者見込み 25,000人				支出見込み	2,500,000円	備考	アプリ 保守費 ●●円、タブレット貸出人件費 ●●円等					

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

様式 1 - 3 (記入例)

<収支予算書>

	区分	金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0	0	
	その他収入	0		交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担額にいらしてください。この値は1枚目の、補助金の交付要望額と同じになります。
	小計 (A)	0		
	自己負担金 (B)	6,040,000		
	本事業による補助金の交付要望額 (C)	3,020,000		同額になるようにしてください。
	①収入合計 (A) + (B) + (C)	9,060,000	0	

	区分	総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	9,060,000	3,020,000	6,040,000
	主たる経費	9,000,000	3,000,000	6,000,000
	コンテンツ作成経費	7,500,000	2,500,000	〇〇市予算 5,000,000
	機器整備費	1,500,000	500,000	〇〇市予算 1,000,000
	その他経費 (事務経費)	60,000	20,000	〇〇市予算 40,000

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
VR等を利用した観光アプリコンテンツ作成経費	【委託費】 制作委託 一式 7,500,000円(見積番号①)	7,500,000	2,500,000	5,000,000
機器整備費	【需用費】 タブレット @50,000円×30台=1,500,000円	1,500,000	500,000	1,000,000
合 計		9,000,000	3,000,000	6,000,000

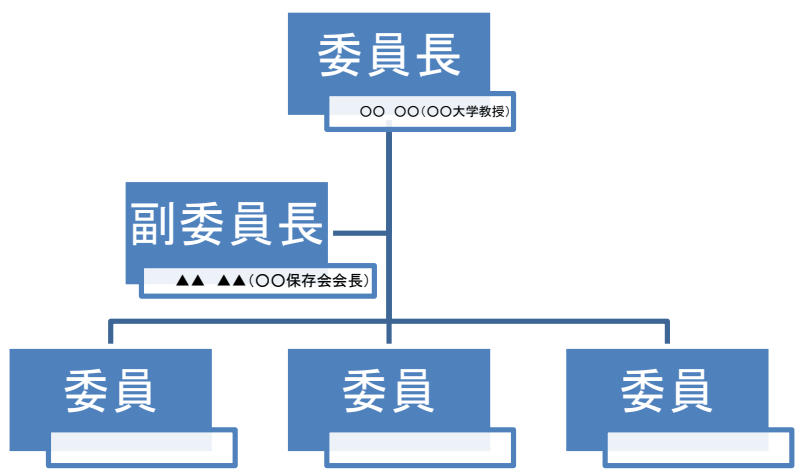
※ 課税対象経費については、消費税率8%として記載すること。

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
事務経費	【需用費】 消耗品費 一式 60,000円	60,000	20,000	40,000
合 計		60,000	20,000	40,000

※ 課税対象経費については、消費税率8%として記載すること。

実施体制の概要

(ふりがな) 名称	○○○○	(ふりがな) 代表者職名・氏名	しちよう ○○○ ○○○ 市長 ○○ ○○
所在地	〒000-0000 ○○県○○市○○町3-2-1	電話番号	****-****-****
		FAX番号	****-****-****
構成員		構成団体	
○○ ○○(○○行事保存会会長) ○○ ○○(○○市観光協会会長) ○○ ○○(○○市教育委員会○○課長) ○○ ○○(○○市○○課長)		○○保存会 ○○市観光協会 ○○市	
組織図	○○市教育委員会○○課や○○市○○課、市指定有形文化財(建造物)の保存会、○○大学の○○教授(○○学部○○学科教授(専門分野:都市計画))、観光協会会長及び地域住民代表として▲▲自治会会長等で構成する策定委員会を設置し、……………。 <div style="text-align: center;">  <pre> graph TD A[委員長 ○○ ○○(○○大学教授)] --- B[副委員長 ▲▲ ▲▲(○○保存会会長)] B --- C[委員] B --- D[委員] B --- E[委員] </pre> </div>		

※ 委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例:自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。

見積書

〇〇市 殿

観光アプリコンテンツ委託費について、下記のとおりお見積もりします。

平成〇年〇月〇日

(株)〇〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇 印

金 7,500,000 円

事項	金額	備考
企画経費	400,000	
取材調査経費	1,000,000	
監修経費	100,000	
CGデータ作成費用	3,000,000	
音声データ作成費用	500,000	
映像データ作成費用	2,500,000	
消費税(8%)	74,841	
小計	7,574,841	
値引き	74,841	
合計	7,500,000	

- ※ 人件費については、内訳を記入してください。
- ※ 単価等は「各費目における単価上限、補助対象外経費等」によるものとしてください。
- ※ 使用料、借料、再委託費、消耗品費等については、内訳明細を添付してください。
- ※ 発注予定金額が10万円(税込)以上の場合、見積書を徴すること。
- ※ 発注予定金額が100万円(税込)以上の場合、複数者から見積書を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書(任意様式)を添付してください。

平成31年度 文化財多言語解説整備事業成果報告書

①都道府県・市区町村名	〇〇市	②事業者	〇〇市					
③実施計画の名称	〇〇文化財観光アプリコンテンツ整備事業							
④事業年度	平成30年度							
⑤設定した指標・目標と31年度の達成状況								
対象文化財の外国人観光客数	31年度	25,000人	35年度	45,000人	→	達成状況	31年度	26,000人
対象文化財の外国人観光客満足度	31年度	70%	35年度	85%	→	達成状況	31年度	75%
⑥事業成果の概要								
※平成30年度に実施した事業の実施状況を記載してください。								
⑦事業実施による効果等の検証・分析結果及び今後の見通し								
※平成30年度事業実施により得られた効果や実施以後の状況（人数などの指標の基づき、定量的・定性的な効果）及び今後の目標達成の見通しを具体的に記載してください。								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="color: red; font-size: small;">計画を実施することにより、どのような効果・成果を得られたかについて、人数などの指標の基づき、定量的・定性的な効果を具体的かつ詳細に記載してください。</p> </div>								
⑧補助事業実施による31年度収入とその用途について（利用料を徴収していない場合はその理由を記載）								
収入	タブレット貸出料	100円×25,000人=2,500,000円						
支出	メンテナンス経費	1,300,000円	貸出人件費	1,200,000円				
⑨担当者連絡先								
ふりがな	〇〇 〇〇							
担当者氏名	〇〇 〇〇(〇〇市教育委員会文化財課)							
TEL	****-****-****	FAX	****-****-****					
E-mail	***@***.***.***							
住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3							

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。